

指定管理者制度のメリットは



とみなが 富永 創造 議員

利便性・サービスの向上 内部管理費等の削減

富永 ①この制度の導入によって住民にいかなる利益をもたらすのか。
②この制度の運用は、どのような基準設定で行っているのか。
③指定管理者の評価は、どのような方法で、どのように行っているのか。
外部有識者などの、第三者の評価視点が必要とありますが、どう考えるか。

町長 指定管理者施設においては、事業計画書と収支計画書に基づく管理運営状況について、町と指定管理者との定期的な確認と協議をおこなっており、施設利用者への利便性およびサービスの向上はもとより、指定管理者の工夫による各種補助金の積極的な活用や軽微な修繕作業、内部管理費等の削減につとめています。
運用基準、評価においても地方自治法の規定に基づき、条例と管理運営状況検証基準を策定し、検証評価を行っています。
第三者の評価は監査を含めてありませんが、今後検討を加えていきたいと思えます。



指定管理施設 ふるさとの森芸術村

富永 ①歴史資料の保管状況はどうなっていますか。
②歴史資料の町の基本方針、及び分類、保存、管理、利用における計画策定を行うことは、考えられませんか。
町長 中畑陣屋の二本カヤ、鬼穴古墳の県指定文化財2つと、三十三観音磨崖仏、五本松の松並木、三城目獅子舞・平鉄踊りなど14の町指定文化財があり、ほかにも、3500点を超える文献資料、発掘調査等で出土した土器片などが矢吹中の旧D棟に、ふるさとの森芸術村には、町内遺跡出土品などが保管されています。
今後はこれらの活用、保護、無形文化財の伝承

町政を問う（一般質問）

歴史資料の保護

取り扱いの強化を

今年度中に計画をつくる

などについて、教育委員会や関係機関と協議を深めていきます。

教育長 旧D棟は湿度、湿度で、長期的保存に問

題があり、専門家と協議し、基本方針策定の検討をします。町に学芸員はおらず、白河市に勤務の方の指導をいただいています。



矢中旧D棟の歴史資料